

第30回 記念公演 釜石市民劇場

小さな 幸せの花

PART2

~Believe~

「2幕9場」

平成28年 **11月13日(日)**

会場／シープラザ遊

開場	午後12時30分
開会行事	午後1時20分
開演	午後1時30分

入場無料

原作・脚本／久保秀俊
演出／久保秀俊
舞台装置／川端州一
舞台進行／佐藤翔太

第30回 記念公演
釜石市民劇場「2幕9場」

小さな 幸せの花

PART2

～Believe～

〔主 催〕 釜石市民劇場実行委員会
〔企画・制作〕 釜石市民劇場実行委員会
〔後 援〕 釜石市・教育委員会
釜石市芸術文化協会

実行委員会事務局

会 長 平 田 裕 彌
副会長 藤 原 昌 教
〃 干 坂 誠 久
〃 浜 川 美 和 子
事務局長 久 保 秀 俊

あらすじ

東日本大震災から5年が経過した中で、アキ（主人公）の夫が未だ行方不明の境遇の中、夫との思い出を胸に秘め、母と子たちの前向きに生きる姿と近隣の心優しい人々との結びつきを描いた。

幕開けは、夢幻の世界で春生（夫）との思い出の地で子どもたちと自然の素晴らしさと春生の気配を感じ合う。

ある日、留守をしていた子どもたちが、出かけた隙に不審者に、家中を物色され思い出のカメラが盗まれてしまう。

近隣友人達が心配する中、盗んだ不審者が、良心がとがめて玄關に包みを置いて去る。子どもたちが発見するが、その包みが危険物と疑い警察官が駆けつける騒ぎとなる。

連日の仕事と子育てに奮闘しているアキが、職場で心労が重なり倒れ入院する。近隣の友人絵美はじめ周りの人々の協力で、子ども達の面倒をみることになる。退院時には、廻りの人々や子ども達から祝福され、「小さな幸せ」のバールパンジーを贈られる。

時が過ぎ、夫が子ども達の成長を夢幻の世界で見てくれたんだと確信し、夫の言葉「小さくてもいい幸せならば」と言える様に生きて行くことを誓う。

《劇中歌》

小さな幸せの花 Part 2

（Believe）

作詞／久保ひでとし
作曲／山崎 眞行

小さな幸せの花（あなたを忘れない）

未来よ それは希望の未来

永遠に遥かなる世界

あなたが進む路なのよ

そこには あなたを愛する人

家族がいることを 忘れないでほしい

愛する人 愛される人

いつまでも続く心の拠りどころ

あなたがくれたこの世界

野に咲く花の命を大切に

いつまでもあなたを忘れない

優しく咲く可憐な花にみんな笑顔になり

新しい世界へ歩むのよ

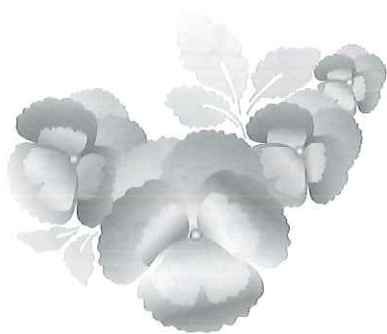
美花も 咲も 未来と一緒に

これからも歩むのよ

空を見上げれば

優しい雲に乗った家族の集い

あれは愛なのよ It Believe



◆出演者

ア キ (主人公・夫春生は行方不明) 小笠原 景子
未 来 (アキの長女) 矢 浦 望 羽
美 花 (アキの次女) 小笠原 の 魚
咲 (アキの三女) 矢 浦 望 那
芳 雄 (義弟) 阿 部 弘
正 雄 (義父) 武 田 仁 一
ヨ シ (義母) 八 幡 サ エ
絵 美 (近所の友人) 尾 形 由 美 子
金 四 郎 (近所の友人) 三 上 徹
涼 太 (絵美の子) 鬼 頭 佑 太
上 田 (春生の上司) 黒 瀬 弘 樹
有 希 (子どもの学友) 奥 寺 玲 華
愛 莉 (子どもの学友) 奥 寺 麻 里 亜
警察官 (交番勤務) 八 幡 達 史
不審者 (良心的泥棒) 鬼 頭 美 憲

◆演出／スタッフチーフ

原作・脚本・演出 久 保 秀 俊
舞台装置 川 端 州 一
舞台進行 佐 藤 翔 太
大道具チーフ 佐 藤 登 美 夫
小道具チーフ 岡 道 美 咲
美術チーフ 岡 道 美 紀
音響チーフ 久 保 寛 人
照明チーフ 森 一 欽
メイク衣装チーフ 千 葉 悦 子
宣伝チーフ 松 坂 喜 徳